

石巻市NPO支援オフィス通信  
N PO N PO  
月刊 **んぽん舗**

平成26年11月号 第135号 毎月10日発行

発行日 2014年11月10日

発行 石巻市NPO支援オフィス  
〒986-0832 宮城県石巻市泉町3丁目1-63  
TEL/FAX 0225-23-3641

E-mail nposhien@pluto.plala.or.jp

URL <http://ishinomakinposhienoffice.jimdo.com/>

□ オフィス開館時間:月~金曜日10:00~20:00 土曜日10:00~18:00 日曜・祝日休館 □

「いしのまき大同窓会 in 石巻」

[http://is-maki.com/wp-content/uploads/dousoukai2014\\_2.jpg](http://is-maki.com/wp-content/uploads/dousoukai2014_2.jpg)

- ◆日 時:平成26年11月22日(土) 17:00開場、18:30開始
- ◆場 所:石巻グランドホテル 2階 天翔の間
- ◆参加費:5,000円 (飲食代)
- ◆内 容:地場産品紹介コーナー、石巻の食材を使ったお料理・地酒を堪能、【石巻の今】を伝える写真展、石巻の郷土芸能
- ◆主催:NPO法人いしのまきNPOセンター  
後援:石巻市、河北新報社、石巻かほく、石巻日日新聞社、ラジオ石巻FM76.4
- ◆お問合せ:  
NPO法人いしのまきNPOセンター TEL→0225-23-0851(担当:清水、岡田)  
FAX→0225-23-3641 メール→npo@i-port.ne.jp

同日開催! 語り部ガイドがご案内する被災地見学バスツアー (仙台駅出発)  
※バスツアー代金は当方で負担いたします。

まだ若干の余裕があります。ぜひご参加お待ちしております。

◆新・登録団体紹介◆

石巻市NPO支援オフィスの新しい登録団体をご紹介します。

【登録番号 144】石巻市民交響楽団

活動内容 : アウトリーチでの演奏活動、  
春はファミリーコンサート・秋は定期演奏会として本格的なクラシックコンサートを行っている。  
震災後は3月に追悼演奏会を行っている



わが家の災害対応ワークショップ@いしのまきNPOセンター

講座: 一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター



このワークショップは、ピースポート災害ボランティアセンターが、自治会、町内会、商店会、学校、非営利団体などを対象に行っているワークショップで、ワークブックを活用しながら災害が自分や家族に降りかかった場合に、その過程で遭遇する出来事や疑問、困難をみつげだし、家族での話し合いや備えに必要なものを学びます。

今回は、スタッフ各自が自宅にいた場合に災害が起こったという想定で、避難場所や経路の確認から始まりました。

それから、自宅の間取りや家具の配置、転倒防止の対策をしているかどうか、また、家族の1日のスケジュールの確認や、自宅避難生活になった場合には備蓄品がどれくらい必要かなど、自分の家の中だけでも確認すべきことは多くあることがわかりました。

最期に、被災した状況をイメージして、3日後までの出来事や対応を想像し、問題点や疑問点を洗い出しました。

もしも夜なら、灯りの確保のためにどう準備すべきか、目の悪い人はメガネが近くないと困ること、災害時に持ち出す準備物の置き場所、そして車で逃げることは可能かなど、細かい課題がいっぱいみつき、帰ったらさっそく家族会議をしなくてはという気持ちになりました。

ピースポートでは、このワークショップを開催したい団体を募集しています。年度内は助成金が活用できるので無料で行えます。



<http://pbv.or.jp/wagaya.html> ← 資料のDLはこちらから

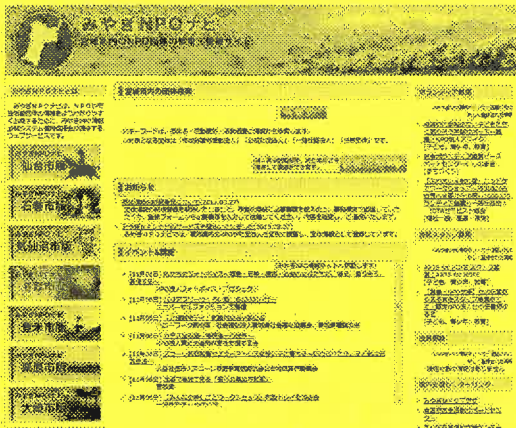
## 書籍紹介

先日、巻.comスタッフがコラムを書く際、資料を探してオフィスの参考図書を物色していたところ、震災以前の石巻のグラフィアや航空写真などの書籍がたくさんあったことに気が付きました。写真の航空写真は平成11年発行のものですが、昭和時代の街並みや公共施設などの比較写真など、今となっては貴重な時代の物が見つかり、しばし見入ってしまいました。震災関連の書籍は以前紹介しましたが、こういった昔なつかしい書籍も貸出ししております。もちろんNPO関連本も多数置いてあります。ぜひご観覧ください。



参考：・空からの写真集「石巻・矢本・女川」 発行：株式会社ヤマト屋書店  
 ・グラフィア石巻、グラフィア石巻(続編)、グラフィア石巻(第3集) 撮影と編集：亀山幸一  
 ・保存版 石巻・東松島・女川古今写真集 監修、執筆：邊見清二

## みやぎNPO情報ネット <http://miyagi-nponavi.jp/>



みやぎNPOナビは、NPOや市民活動団体の信頼性を高めるための情報提供の仕組みづくりに向け、仙台市、特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター及び、認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる参加の協議会がよるウェブサービスで、県内の市町や支援センターが管理しています。県内のNPOの活動団体の情報が、このサイト一つで収集できるということを目指していますので、団体情報の新規登録も随時受け付けております。

登録には、所定の用紙に必要事項を記入し事務局まで郵送していただくか、登録フォームから必要事項を入力して送信いただければ、地域の団体のカテゴリーの中に載せることができます。



登録用紙は、石巻市NPO支援オフィスにもありますが、登録団体の皆様には、今回のんぼん舗に同封させていただきますので、ぜひまだ未登録の団体さんは、この機会にご登録いただきますようお願いいたします。

## 介護保険制度の改正における

宮城県(みやぎNPOプラザ)主催の「NPO支援に役立てる！介護保険制度基礎講座」に参加しました。県の保健福祉部 長寿社会政策課の方々講師として、宮城県の現状からの新しい介護保険制度に向けての取り組みなどを伺いました。宮城県は現在(25年度末集計)65歳以上の高齢者が人口の24%を占めていて、この先高齢化率は10年で30%を超えると予想されています。高齢化が進めば介護が必要な人口も増え、負担すべき費用も増加します。介護保険制度は、3年ごとに見直されて改正されるのですが、このような現状を踏まえて、今回は、地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平化を見直し案として掲げています。地域包括ケアシステムの構築は、団塊の世代が75歳になる2025年を目途に、今までの全国一律のサービスから、地域の特性を生かした介護にむけて今後作り上げていくこととなりますが、ニーズにあった多様なサービスを提供していくためには、NPO、民間企業、ボランティアなどの活躍も期待されています。すべての保険者で要支援者に対する新しい総合事業への移行は、平成29年4月までの移行を目指していますが、県内では石巻市が唯一、平成27年度からの意向を表明しています。今後は、キーパーソンになる人材や、地域コーディネーターの養成も必要と検討されていますが、介護活動をしている団体への周知や地域資源の掘り起こしも、なかなかできていないのが現状のようです。